

# 東京都市大、早稲田大、JAEA

## 産学官連携「共同原子力専攻」を設立

東京都市大学（中村英夫学長）、早稲田大学（白井克彦総長）と独立行政法人

日本原子力研究開発機構（JAEA）、岡崎俊雄理事

長の3者は15日、連携協力に関する協定を締結、産学官が一体となった共同教

育課程「共同原子力専攻」を4月1日に設立する。

同共同専攻は実学重視の視点により、原子力機構の

原子炉や核燃料取り扱い施設を用いた実験・実習など

現場体験の機会を提供。今回の協定締結により、相互

の研究資源を連携活用し、原子力関連研究、人材育成の充実を図る。

拠点は東京・渋谷地区（JR渋谷駅近く）に置き、当面はマスター（修士2年間）30人程度によるスタートを予定している。



左からJAEAの岡崎理事長、東京都市大の中村学長、早大の白井総長

る。JAEAは今回の東京都市大、早大を合わせ、現在全国の18大学（うち私立5大学）と連携協力し、原子力研究の底辺拡大、人材育成に注力している。最近

は、地球環境保護、省エネに対する世界的な関心の高まりから、原子力関係の学科を新設する大学が増える傾向にある。

「化石燃料の枯渇がいわゆる中でエネルギー問題の解は、今のところ原子力の有効活用しかない。連携協力により、高いレベルの人材育成を実現していきたい」（早大・白井総長）。

